

歓迎すること・疎外しないこと

島 しづ子

24年程前に養護学校の先輩お母さんたちが私に声を掛けてくれた。「島さん 私たちのこどもは養護学校卒業後行く場所がないのよ。だから自分たちで作らしましょう。」と。それからあちこちの施設や作業所を見学した。夏には10日間に及ぶサマースクールを計画し、実施。親たちが中心の活動だった。熱田区五番町の名港教会が空いていたのでお借りした。管理者である人事教会の方々が影に日向に手伝って下さった。改革派教会の理解と協力がなかったら愛実の会の歩みはもっと難しかったかもしれない。

懐かしいのは長村さんと加藤さんである。長村さんは「愛実の会」の代表として名港教会の使用を交渉し、信じられないが無料で会場をお借りし続けた。長村さんにいつも同行していたのが、加藤さんだった。加藤さんは若いボランティアを伴い食事づくりや・掃除をして下さった。私たち親が手を出そうとすると、「いいの、いいの、ここは私たちに任せて、あなたたちはそこで座っておしゃべりしていて！」と言って下さった。やがて加藤さんは重病になり、天国に還られた。自分が出来なくなる分を中西さんに託して、中西さんがその後を担って下さった。手芸を指導して下さった人、会報を印刷してくれた人、デイサービスで取り組みを担って下さった人たち。あの頃人事教会の方々にどんなに励まされたことだろう。なにせ、私たちが何を求め、何をしようとしているかわからないから、理解者は少なかった。

在日大韓名古屋教会女性会の方々は最初の訪問日、ビビンバ持参で、チマ・チョゴリで踊って下さった。最近まで一年に一度ビビンバ訪問が続いた。今は新潟市にいる鈴木武二さんは、名古屋ワイズメンズクラブのメンバーとしてメネットさんたちに声を掛けて下さりメネットさんたちは毎月一度食事作りに今も通って下さっている。ルーテル復活教会の方々、個人として見るに見かねて食事作りに来て下さった方々。今も送られてくる寄付の礼状を書きながら初めから支え続けて下さった方々、長く支えて下さっている方々に心の中で頭を下げている。

あの頃、親たちが求めていたのは、こども達が卒業後通える場所だった。作業になじまないこどもが毎日出かけていける場所。そこでは誰もが主人公として過ごせ、顔と顔を合わせてゆったりと過ごす。五人ぐらいだったら誰も疎外されず、いい規模だと思い、5人定員。増えたら分離して小さなグループを作る、と夢見た。愛実友だちの家、大地の家が出来、しばらくして紙風船も同じように認可されて活動をしてきた。合併前の紙風船にも私が知らない大勢の理解者と協力者がいたに違いない。

今まで多勢の方々の愛を一杯頂いてきた。まさに「愛は実る会」だ。重度の障がい者は幼い頃からいくつもの壁に隔てられ、行ける場所は限られていた。だから愛実の会では互いを歓迎しあいたい。疎外はしたくない。愛実の会の存在理由はそこにこそあると思う。互いに歓迎することは簡単ではないけれど、個性的な私たちが学びあいながら、いかに共存していけるかという試みは「社会への挑戦」というより、プレゼントだろう。なによりも社会がその画一性のゆえに呻吟し、メンバーに生き難さをしわ寄せしているのだから。社会の仕組みが破綻している今、共に生かしあう仕組みこそ求められている。

新年度に向かう今、もう一度そのことを確認したいものだ。



「愛実」という名前（言葉）

中森由哉

皆様は「愛実」という文字（言葉）を見て、愛実の会のことを全く知らないと仮定すると、どのように読まれるのでしょうか？ 例えば「あいみ」とか「あいじつ」とか読まれるかもしれませんが。でも実際は「あみ」と呼びます（少し変わった読み方かもしれませんが）。この名前は「愛が実る」ということで「愛実」となったとのこと（この名前が出来たのは約 20 年前で相当な歴史もあり、私自身はこの名前に決まった時に愛実の会にはいなかったのですが）。あとよく「愛実の会」と間違われることもあり、確かにこれでも「愛は美しい」で、意味としてはすばらしいと思うのですが、「愛実」という文字を見慣れた眼だと、やはり「愛実」より「愛実」の方がしっくりきます。

あと、「愛実（あみ）」という言葉に関して・・・

フランス語で「アミ」という単語は「友だち」を意味するそうです。また、スペイン語で友だちは「アミーゴ」（ご存知の方も結構いらっしゃるかもしれません）。それに関連して愛実の会では車椅子のまま乗れる車輛が数台あり（主に送迎で活躍しています、デイでの外出にも必須です。）、車輛に名称がついているものがそのうちいくつかあるのですが、そのうちのひとつに「あみ号」と名づけたものがあり、そしてこの「あみ号」のことを内輪では通称「アミーゴ」と呼んでおり、「アミーゴ」といえば障がいのあるメンバーやアシスタント（職員）は、どの車輛かわかります。

「愛が実る」、「友だち」、とてもすばらしい言葉だと思います。それを表している「愛実」をいう名前もとてもすばらしい名前だと思います。名実共に「愛実」でありたいと思います。

成人の祝い&新年会を開催しました

愛実の会の全体行事として毎年恒例となりました新年会、今年は4人のメンバーが新成人を迎え、メンバー・親御さん・アシスタント合わせて総勢72名で、2011.1.21(金)瑞穂区のフレンチレストラン：エルダンジュにて開催することができました。木場町に移転してからは初めての全体行事ということもあって、職員総出で盛り上げ新成人をお祝いしようと役割を分担して、プログラムにも心のこもった企画・演出をみんなで話し合い準備を進めて来ました。そして、当日は盛況のうちに無事終わることが出来て本当に良かったです。

愛実の会では、メンバーの成人を特別な思いを持って、みんなで喜び祝うことを大切にして来ました。今回の新年会はその気持ちを改めてみんなで確認し、共有しながらひとつの祝いの形にできたことに大きな収穫があったのではと思います。いろんな課題も見えて来ましたが、ご協力を頂いたレストランのスタッフの方々、ジャズ演奏のバンドの皆さん、ありがとうございます。そして愛実の会のみんなで心を込めたお祝いができた事に大きな感謝です。『新成人のみなさん本当におめでとうございました！』



名古屋市港文化小劇場地域振興エデュケーションプログラム

名古屋市文化振興事業団では日頃、芸術文化に触れる機会の少ない人々に対して、その生活の場に出向いて働きかける活動(アウトリーチ活動)を行っているそうです。そしてこのたび、港文化小劇場様より愛実の会にて演奏プログラムを行う提案をいただきました。2011年2月2日、女性4名で結成されたユニット「マハナ」さんに来ていただき、サクソ、ユーフォニアム、コントラバス、パーカッションによるコンサートが開催されました。日本の四季やディズニーのメドレー、崖の上のポニョなど楽しい音楽が次々と演奏され、また時に楽器の紹介があったり、メンバーの皆さんも一緒に音を出してみたりと、とても楽しく素敵な演奏会となりました。

プロの芸術家による間近での生演奏にととても感動し、音楽の楽しさ素晴らしさを実感させていただくことができました。

おもに普段は小学校等でのプログラムが多い中、愛実の会での開催を計画してくださり本当にありがとうございました。



* * * * *

「小窓から」 11

大野 義徳

また季節がめぐり、春が近づいてきた。花々が咲きだし、葉を広げ、虫たちが動き出す。冬のうちから準備していたからだろうか、暖くなると短期間でその変化を一斉に起こす。でも、不思議なことにそこに慌ただしさを感じない。虫たちが飛び交う光景も、むしろゆったりして見えるほどだ。

日々、ほぼ全介助の介護を受けて暮しているメンバーたちは、受身の生活をしているからか周囲の様子をととても敏感に観察している。介助者の「手」を通じて、その介助者の体調や機嫌の良し悪しまで正確に察知する。そればかりか、介助者が落ち着いているか焦っているかどうかを、その介助者がそばを歩いて通る時に感じる風だけでもきちんと見分けているようだ。

重い障がいを持つメンバーは、慌ただししい雰囲気が苦手だ。環境の変化に順応しづらいのは知的障がいの一つの特徴だそう。それだからか家でも、学校でも、そして愛実においても急激な変化を嫌い、ゆったりした家庭的な雰囲気を好むようだ。

そのために、介助者としてヘルパーの教科書にあるような介助技術を身につけるのも、もちろん大切で大変なことだけれども、自分が醸し出す雰囲気までもゆったりしたものにするのは、並大抵のことではない。

自分が落ち着いている時ばかりでなく、あわてている時でさえもメンバーに見抜かれずにゆったりした空気をまとっていられるかどうか。これはとてもエネルギーのいる難しいことだけれども、意外とそのヒントは身近な自然の中に潜んでいるのかもしれない。毎年何気なく変化していく自然が教えてくれているような気がする。

定例会報告

今年度第4回目の定例会が1月22日(土)に開催されました。参加者は19名でテーマは前回・今回・次回と3回にまたがって「ホームヘルプの充実」を掲げました。当法人は生活介護事業(デイサービス)とホームヘルプサービス(居宅)を実施していますが、デイサービスが中心になっていて居宅体制が弱いのが大きな特徴です。

しかし、メンバーの将来の生活を考える時には、必ず居宅の問題が重要視されています。現状を把握することから、人・体制・お金の問題について話し合われました。

当日出された主な意見

- ・ 現状の主なサービス提供は、デイに出発前の朝の準備や、デイ帰宅後の入浴等、生活介護との関連で実施されているのが特徴である。
- ・ 当法人の現状や、制度等の情報提供を含めた公平感が大切では(一部の人だけが得するとか、大きな声を出した者勝ちではなく)
- ・ 居宅のニーズはたくさんあると思うが、全てのニーズに応えることは不可能。とするとニーズに応える際の優先順位を明確にする必要がある(例えば緊急性に着目するとか、特定の時間帯に焦点を合わせるとか)
- ・ ニーズ把握の際は、アンケートより個別の聴き取りが大切であろう。
- ・ 現状の体制では、今のサービス提供が精一杯。サービス提供充実のためには人手を増やすことが必須。
- ・ 人手確保の1つとして、登録ヘルパーではなく、ホームヘルプを主たる業務とするパートアシスタント(職員)確保が考えられる。
- ・ 生活介護でのメンバーの様子を知っているアシスタントが、そのメンバーのホームヘルプも担当することは、パニックが起きた時も、その背景や対処方法等に対しての理解があるので安心感がある。(重心の場合は誰でも簡単には介護ができない)
- ・ 生活介護のアシスタントがホームヘルプに関わるケースが増加する場合、時間帯をずらした勤務体制の検討も必要では。
- ・ ホームヘルプを充実させようとするあまり、生活介護を犠牲にしてはいけない。現状の体制でホームヘルプに力を入れると、生活介護にしわ寄せが行く。
- ・ ホームヘルプのサービス提供増は確実に+収入となるが、サービスの提供を増やすには+人手が必須、人手を増やすためには+収入が必須、というのが現実。
- ・ 経営面においてもホームヘルプを充実させることは愛実の会の安定(収入増)につながる一方で、アシスタントにも還元されることが必要であろう。

+次回の第5回は3月26日(土)で今年度最後の定例会となります。

訃報のお知らせ

2010年4月より紙風船のメンバーとして、愛実の会に入所された長谷川翔一さん(18歳)が、去る12月5日に永眠されました。

入退院を繰り返し、自宅にて療養生活を続けてみえました。

私たちも、また一緒に活動できることを願い、戻ってきてくれることを待ち望んでいましたので、本当に残念です。長谷川さんはおしゃべりが大好きで、笑顔がとっても素敵だったのが印象に残っています。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。楽しい時間をありがとう!



愛実友だちの家のページ

(P5~6)

2011年が始まり、早や3カ月が経ちました。

この間に、季節は移り変わり、三寒四温ではあるものの、空気がすっかり春めいてきましたね。今年も2名のメンバーが無事、成人を迎えることができ、大地の家や紙風船の新成人メンバーとともに、愛実の会全体で手作りの温かいお祝い会をしました。

まずは新成人を迎えた2名のメンバーを紹介し、新年を迎えてからの行事を中心に、最近のメンバーの様子をお伝えしたいと思います。

◆新成人おめでとう◆～新成人の2名の紹介～



KTさん

KTさんは、一昨年度の新人メンバー紹介にもあった通り、学生時代から王子様と呼ばれていたようですが、あみともでもやはり王子様で、特に年上女性アシスタントからの人気は絶大なオバドル（オバサンアイドル）です。

人の動きをよく見ていて、何か失敗をしたり、おもしろいことをやっているとき密かにニヤリ。

その笑顔がとても素敵なんですよ。

これからKTさんが成人として成長していかれる中で、自分から意思表示ができるという思いで、一緒に時間を過ごしていきたいと思います。



HYさん

HYさんは、お姫様のように可愛らしい方です。

学生時代は『ねむり姫』と呼ばれるくらい眠ることが好きだったようですが、あみともに来てからはその名を返上。

食べることが大好きで、特に甘いものには目がなくて、いつもはゆっくり時間をかけて食事をするHYさんも、おやつだけは誰よりもはやくペロリ。

最近、泣き顔が多く心配ですが、そんな感情表現からHYさんの気持ちを読み取って笑顔の多い毎日にしていけたらと思います。

大地の家のページ

(P7~8)

初釜



2011年になり早三ヶ月が経ちますが、大地の家では相変わらずマイペースにいろいろな活動に取り組んでいます☆

年明け最初のデイでは、『初釜』に挑戦しました。初釜とは、その年最初のお茶会のこと。ここ数年の恒例となっているこの活動ですが、今年は少し違います。毎月言語プログラムを行ってくださっている言語聴覚士の茂吉さんが、本格的なお茶会を開いてくださったのです。実は茂吉さんはお茶を教えておられるほどの腕前の持ち主。火鉢や茶碗などの道具一式も持ってきて下さり、大地の家の畳スペースが一気に茶室に早変わりです。

お抹茶をいただく前に、まずは干菓子とお饅頭を頂きます。カラフルでひとつひとつが作りこまれた干菓子は、眺めているだけでも飽きず、メンバー&アシスタントの目を楽しませてくれました。(会報では例によって白黒ですが……)もちろん、お味の方もとても美味しく、甘党の大地メンバーたちは大喜びで口を動かしていましたよ。



お茶菓子をいただいたあとは、一人ずつ順番にお抹茶を点てていただきます。目の前でシャカシャカとかき混ぜられるお抹茶にメンバーたちは興味津々。じーっとお抹茶の方を見たり、「早く飲みたいなあ」とアピールしたり…。メンバーそれぞれ表現方法は違えど、楽しみにしている様子が伝わってくるようでした。



そしていよいよ実際にお抹茶をいただきます！メンバーの反応はというと…ちょっぴり大人な味に「苦〜い」と顔をしかめるメンバーもいれば、「美味しい！」とおかわりして二杯目をいただくメンバーも。普段お抹茶をいただく機会はありません。良い刺激になったようでした。

その後、茂吉さんのお心遣いで、アシスタントもお抹茶をいただくことに。どことなく引き締まった雰囲気と、慣れない作法にギクシャクしながらも、美味しいお抹茶を楽しみました。

ちょっぴり贅沢な雰囲気新年気分を味わえた初釜でした☆



ハンドベル演奏会

南山幼稚園保護者の方々によって結成された音楽サークルの皆さんが、今年もミュージックベルの演奏に来てくださいました♪

移転する前までは3部門が別々の場所で活動していたため、大地の家のメンバー&アシスタントしか演奏会に参加できなかったのですが、今回からは愛実友だちの家や紙風船も一緒。同じ時間を楽しむことができるのも、同じ場所にいるからこそだなあ、としみじみ感じて嬉しくなる瞬間でした。

ホールに3部門の面々が全員集合したところで、「みなさんこんにちは！」という園長先生の元気な挨拶から演奏会がスタートします。最初の曲はとなりのトトロの「さんぽ」。よく知っているこの曲も、ベルの澄んだ音色のせいか全く違った雰囲気にも聴こえます。綺麗で心に響く音に、メンバーたちはうっとり。みなさん静かに聴き入っていました。その後も、「ピタゴラスイッチのテーマ」「世界に一つだけの花」などの馴染み深いものから賛美歌やクラシックまで、様々な曲を演奏して下さいました☆また、ベルの演奏以外にも、リコーダーでの演奏やピアノの連弾、独唱など…いろいろな形で音を楽しむことが出来る貴重な時間となりました。南山幼稚園の皆さん、素敵な演奏会をありがとうございました♪



今年の大地的家の新成人
F・Yさんです☆☆
ご成人おめでとうございます(^▽^*)

日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

紙風船のページ

(P9~12)

今年の冬はたくさん雪が降る冷たい季節となりました。近頃では道端には春の草花も顔を出し、少しずつ春の予感も感じるこの頃です。3月を迎え2010年度ももうすぐ終わりを迎えます。そこで紙風船では新たに2011年度に向けての準備を少しずつ進めています。2011年度が充実した1年にできるようメンバー・アシスタントみんなで協力して、笑顔のあふれる紙風船を築いていきたいと思ひます。

宣伝活動スタート



チラシ&パンフレットが
完成しました!!



チラシやパンフレットの
郵送作業を行っています!
たくさん公演依頼が
きますように☆

紙風船では新作がようやく完成し、よ～しこれから
どんどん公演するぞ!という気持ちでいっぱい!これ
からは、どれだけ宣伝をして、公演依頼の機会を自分
たちで作っていかかが大切になります。みんなで時間
をかけて作ってきたチラシもようやく完成しました。

そして、早速1月から近隣の老人施設や社会福祉協
議会、区役所、生涯学習センター等に出向きチラシと
パンフレットを置かせていただいたり、メンバーから
の呼びかけを行っています。まだうまく内容を伝えら
れなかったり、相手の人と話しをすることに戸惑う場
面も多くあります。けれど、これから回数をかさねて
自信をもって宣伝していけるよう、どんどん呼びかけ
を続けていきたいと思ひます!



いつもお世話になっ
ているYUMEYAさんでも
宣伝してきました☆

また、紙風船では現在来年度の予定についてみんなで
相談をして少しずつ決めていきます。

平日にも公演をしていけるようになったという事で「少
なくとも月に1回は公演したいな～」「ボランティア公
演も積極的に受けていこう!」そんな思ひでいます。

みんなの思ひは目指せ年間30回公演!

来年度充実した人形劇活動ができることを願ひ、目標
に少しでも近づけるよう頑張っていきたいと思ひます。
皆さんもまわりで人形劇のできる機会がありましたら、
ぜひ声をかけてくださいね☆



新成人の紹介!



紙風船からはメンバーのN. Sさんが成人を迎えられました。紙風船に入って2年。はじめはなかなか人前で話す事が苦手でしたが、成人代表のあいさつも堂々と話すことができた姿に、私たちはとても嬉しい気持ちになりました。これからもたくさんの人と出会い、いろんな経験をつんで行く中で、またさらに成長していく姿を楽しみにしています!

外出体験

暖かい気候で、絶好の外出日和の中、メンバー2人が大須へ出かけました。

大須観音では近くを通りかかった方に声をかけ、長い階段を手伝ってもらい上にあがることができ、しっかりとお賽銭を投げ参拝することができました☆そのあとはおみくじをひいたり、商店街を散策したり、食べ歩きをしたりとゆったりと大須を堪能することができました!

今回の外出体験では、見ず知らずの方に手伝っていただけたりと、とても心が温かい気持ちになれた外出となりました。



音楽とのふれあい



2月、3月を通して音楽と触れ合える機会がたくさんありました。2月には港文化小劇場主催アウトリーチ事業によるマハナの皆さんによる演奏、3月には紙風船のメンバーさんのつながりで「ベルフラワー」というグループの皆さんに来て頂く事が出来ました。当日は愛実や大地のメンバーさんも一緒に参加でき、身近な曲と大正琴の軽やかな音色にみんな笑顔で歌い楽しい時間を過ごすことが出来ました。普段なかなか聞けない演奏に感激するメンバーもいたり、またいろんな効果音の楽器を知る機会にもなり、紙風船にとってはとても勉強にもなりました。またぜひこれからも、いろいろな方と交流していける機会がつかっていただけたらなと感じています。

あとがき

2010年度は紙風船にとって新しい人形劇づくりの一年でした。何度も台本の書き直しがあり、メンバー・アシスタントも苦労しましたが、やっと12月4日発表会を終え2年近くかかって出来た達成感を味わう事が出来ました。紙風船のあらたなスタートです。是非、お近くのイベントがあれば紙風船を呼んで下さいね。来年度は 月1回の公演を目標にがんばっていきます。

朝田 則行

<メンバーの思い>

「ぼくにできること」

山口もとき

人形劇の新作 3作品が完成し12月に試演会を行うことができました。ぼくの出演する作品は「ぼくたちにできること」という環境問題をテーマにしたものですが・・・カンキョウモンダイ??? ぼくは初めよくわかりませんでした。かわいい人形ができて練習が始まりました。あー魚釣りをするんだ。でも、ゴミばっかり釣れるよ!!なんだこの劇??ゴミを釣り上げてどうするの??でもぼくの生きている現実の世界も、海へ出かけると確かにゴミゴミゴミ・・・いっぱい海に浮かんでいます。きったなーいってぼくは思います。

キャンプに出かけると、山の中に冷蔵庫やテレビが捨てられているのを見ます。なんだーこれ?ってぼくは云います。これがカンキョウモンダイ!?環境問題・・・なんだかむずかしいけどきっとゴミを減らして地球をきれいにする事なのかなって・・・人形劇の練習をやりながら考えました。そして、ぼくにできることを考えました。でもぼくのやっていることは、毎日ティッシュをいっぱい使って、ゴミ箱はゴミだらけ。ゲームは毎日やり放題。暖房も入れっぱなし。ぼくの家車はガソリンをいっぱい使うし、ちっともエコじゃないし。

ぼくにできること。ウーンなんだろう?そしてピーンとひらめいたのです。

「人形劇 ぼくたちにできること」の公演をたくさんして、ひとりでも多くの人たちに観てもらって環境問題についてみんなで考えてもらうことができれば・・・そうすれば、きっといつか地球はきれいな星になるでしょう。そうだ、これが「ぼくにできること」だ!ぼくってすごーい



<協力者の思い>

「人形劇」

森田 猛

希望、友情、おもいやり。

どれも生きていくうえで大切なものです。現実にはあれやこれやと色々なことがあるけれど、善き言葉、善き意思は人の心を前向きにします。

ところで、もうひとつ別のアングルから心に語りかけるものがあります。それはファンタジーです。例えばこんな英国の童謡があります。

ほらほら ねこにバイオリン めうしが 月を とびこえりゃ
それみて こいぬが 大笑い おさらは スプーンと 逃げてった

人の心にファンタジーへの強い共感があるからこそ、このおどけた唄が何百年もうたい継がれてきたのでしょう。

善なる世界とファンタジーの世界。

二つの領域を長いロープでつないで、その真ん中にちょこんと座る。そしてブランコのように風を感じながらゆらゆらと揺れて遊んでみる。紙風船の人形劇にぼくはそんなイメージを創造してみました。周りの景色は時と共に変わっていきます。でもブランコはその中心ですっと揺れ続けるでしょう。

【公演だよ！】

第122回 2010年1月29日（土） 支えあいのまちづくり事業 13:30～

南区障がい者自立支援協議会・南区役所主催 南区役所講堂「かめさんのありがとう」

「カメさんのありがとう」を初めて一般のお客さんの前で公演しました。限られた時間の中で準備を行い、途中準備の段階でマイクの不具合が生じたり、ヒヤッとする場面もありましたが、何とか無事に公演を終えることができました。当日は紙風船以外に「NPO法人ゆめの木ワークス」のメンバーさんたちによるハンドベルの素敵な演奏もあり、それぞれの施設が普段の活動の成果をお客さんたちに伝えることができましたと思います。これを機に紙風船の事をまた一人でも多くの方に知っていただけたら嬉しいです。



公演依頼募集中



紙風船では、人形劇の公演依頼を募集しています。

お知り合いの幼稚園、保育所、福祉施設、地域のイベント等機会がありましたらぜひ声をおかけください。

まずはお気軽にお問い合わせください！

チラシ・パンフレット等お送りいたします！

紙風船夢づくり基金へのご協力をお願い

紙風船では人形劇に関する資金(人形劇に関する道具等の購入費・公演活動経費)のご協力を引き続き募っています。今後も継続して充実した人形劇活動をしていく為、どうぞご協力よろしくお願いいたします。

郵便振替

□座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

※備考欄に「夢づくり基金」とご明記ください

クランボルツの理論

南 寿 樹

『まず、はっきりした職業の目標を持ちなさい。そうしなければ、やる気は沸いてこないものだよ』私は、こうした考えを正しいとは思いません。これを恋愛に例えたとしたらどうなるでしょう。『まずは未来の配偶者を決めないと、デートを始めることもできない』といったことになり、これではナンセンスです」ジョン・クランボルツ

クランボルツの理論は「プランド・ハプスタンス・セオリー」と呼ばれ、日本語では「計画的偶発性理論」と訳されている。簡単に言うと「自分の将来を切り開くためにはひとり考えてばかりいないで、夢に向かって少しずつ試してみよう。行動を起こすことでぼんやりしていた夢が自分の夢として近づいてくるよ」ということ。

また、「行動を起こすことで新たな発見があり、夢が変化することもある」ともいう。これは、経験した人も多いだろう。同じような意味で、イギリスの作家ホラス・ウォルポールの造語でセレンディピティ (serendipity) という言葉がある。これは、何かを探している時に探しているものとは別の価値あるものを偶然に見つけることを指す。

私のこれまでの自分づくりは、まさにこれらの理論が当てはまるのではないか——

中学生のころは「政治家になりたい」と漠然と考えていた。それは小学校時代から児童会、生徒会で役員を務めてきたという狭い体験が影響しているのだろう。高校1年生の終わりに「これからは農業が大事」と問題意識を持ち、自分の適性からではなく社会全体の課題から自分の進路を考えた。周りの友人にその考えを話したところ「確かに農業は大事。良い考えだね」とみんなが支持してくれた。「こんなことなら農業高校に行けばよかった」と悔やむほど。でも母から「何バカなことを言ってるの。土地もないのにできるわけないでしょ」と言われ、あっさり断念。そこで「じゃあ、土地がなくてもできることは？」と次に考えたことは株で儲けること。「まずは、経済情勢を知らなきゃ」と経済雑誌を書棚いっぱいになるほど集め、受験勉強そっこのけで読みまくっていた。もちろん大学は経済学部を希望。しかし、受験では有名校ばかり受けたのも甘かったのか、全滅。あえなく浪人生に…ところがこの浪人中に運動不足解消のためトレーニングに行った近所の小学校で小学生と仲良くなった。楽しい日々。「もしこんな毎日が続いたら幸福だろうな…そうだ小学校の先生になろう」と決意。希望学部を教育学部に変え、合格。ところが教育実習で特殊学級の生徒ととても仲良くなり、その学校長から「南君は、特殊教育に向いている。推薦しておく」と言われ、養護学校の教師に…。

——現在の自分を中学生の頃の自分は全く予想できなかったことは言うまでもない。

「自分づくり」とは、分岐の多いジグザクの坂道を時に休憩しながら登ることに似ていないか！

「急がず、しかし 休まず」(ゲーテ) —— 「止」まるが「少」ないと書いて「歩」む。

人生、ゆっくり周りの景色を楽しみながら回り道などして歩いていこう。

「急がず、しかも 休む」(一休さん) —— 時に立ち止まり…まあ、ぼちぼちいこか……

NPO 愛実の会 寄付者名 (順不同・敬称略)

2010年12月7日～2011年2月28日

★ 賛助会費

富田 耀	楽 有紀美	小薄満寿美	柘植久美子	河村比佐子	村上 裕子	町田 隆哉
佐藤 全弘	見木 靖美	梅津ヨシ子	細川美代子	浅野 幸治	阿部 健二	三浦 豪
比企 敦子	榊原 ちる	佐藤 雅美	岩田 妙	若山 直子	渡邊 綾子	河合みち子
上野 嶺	須田 静代	深谷 節子	田中 綏子	五十川俊一	前沢まき代	荒竹ひろみ
寺田 仁計	志村 信夫	戸軽 佳代	江崎 敬子	瀬口 昭代	小出 朋子	森 豊
前山美恵子	太田 信吉	塚田 恵	鈴木善文・都	古田正明・真喜子		

★ 紙風船

小薄満寿美	石井 昌也	牧野 眞保	成田 秀子	三浦 豪	板倉美恵子	小嶋 俊則
南 寿樹	森本るり子	大坂 晴一	佐藤 雅美	数原 陽子	渡邊綾子	田中博史
伊藤 和昭	木村 淑江	酒井 淳子	中森 照子	中森 由哉	人形劇団とんとん堀和代	
伊藤 恵美	戸軽 佳代	伊藤 純一	瀬口 昭代	青木 教子	森 豊	鈴木善文・都
田中 正文	田中 孝子	長谷川耕司	塚田 恵	前山美恵子	和久井由利恵	

★ 寄付・その他

伊藤あつ子	伊藤まり子	中森 照子	中森 由哉	榊原喜代子	国方 恵子	小池 耕一
梅村 亜恵	足立 克己	溝口キミ子	小薄満寿美	細田 広司	臼田 治子	吉岡満智子
柘植久美子	津田加代子	村上 裕子	大藪 礼子	橋詰 四郎	長谷川了示	長谷川孝子
坂口 良彬	豊山教会	西川 道子	堀部 充	堀部 操子	中山 奥行	三浦 豪
柏木 実	稲田 喜水	山中 敦詞	市原信太郎・誉子・麦穂	南 寿樹	柴田 京子	
中村弥栄子	石田 周介	石田伊志子	奥山 喜正	真野 久	リセス	水野 幸子
岩崎 武男	牧野みゆき	渡邊 綾子	吉田 瑩子	須田 静代	早川久美子	中山 静雄
塚田 正昭	水野 享好	前沢まき代	野村 裕子	渡部 重実	宮嶋 映子	佐藤 正幸
佐藤 純子	荒竹ひろみ	玉田 隆	真木 芳子	加藤 久雄	瀬口 昭代	長津 栄
森 豊	前山美恵子	岸野奈奈子	下村 徹嗣	木村由美子	三矢かな江	浅井 志朗
浅井 真希	中西加津子	佐々木麗子	吉丸あさ子	島 しづ子	長谷川耕司	

古田正明・真喜子 出町青葉幼稚園 豊田教会 彦根教会 鳴海教会 日本キリスト改革派金沢教会 碧南教会 ヨナワールド家族会 金城教会バザー 田瀬教会 天白教会渡辺徹朗御器所教会 豊明新生教会 済美高等学校 久が原教会 初島聖十字教会 尾陽教会 敦賀教会 広路教会 東海教会 在日大韓基督教会小倉教会 名古屋キリスト教女子青年会 南山幼稚園 各務原教会 名古屋新生教会教会学校 愛知教会 捜真女学校高等部・中学部 名古屋中央教会 世真留愛敬幼稚園 中京教会 埼玉新生教会

★ 土地建物

小薄満寿美	臼田 治子	吉岡満智子	三浦 豪	南 寿樹	須田 静代	水野 享好
川口いづみ	渡部 重実	真木 芳子	戸軽 佳代	瀬口 昭代	前山美恵子	塚田 恵

★ 移転改装

山本 茂一 八木隆太郎

ご協力ありがとうございました。

引き続きのご支援よろしく願いいたします。

寄付者報告

任意団体 「障がい者・友だちの会・愛実」受付分(敬称略)

2010年11月25日～2011年3月5日

感謝いたします

梅から桜と花模様に移り、季節は私たちの装いも変えます。私たちの活動も、会計年度で一新されます。初志の思いは大切に、そして、今の必要に敏感に対応した活動をと願っています。今後共、よろしくお願い申し上げます。長村

◆寄付金個人・教会

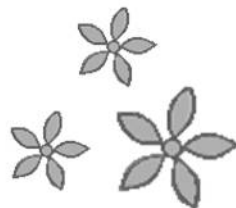
うすきみどり 植松 信雄 原田 忠 鶴崎 祥子 渡井 秀雄 塚田多佳子
 伊藤 秀章 臼田 治子 野々山彰 知多奥田キリスト教センター(学法)
 金城学院みどりファミリーお年玉コンサート 守山教会女性の会
 岡崎茨坪伝道所 平塚YWCA 八事教会 豊橋教会婦人部
 キリスト教愛真高等学校 高蔵寺ニュータウン教会 聖天伝道所

◆賛助会費個人

吉谷尚之(複数回)

◆土地建物基金個人

岩田太万亀(複数回)



【所在地・連絡先】 ※2010年4月より変更いたしました。

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24
 TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889
 E-mail info@aminokai.com
 ホームページ http://www.aminokai.com

「NPO愛実の会」ご支援のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

- ◆ 賛助会費 賛助会員となって愛実の会の支援を行うための費用
 ◆ 寄付金 NPO愛実の会の活動に対する費用
 ◆ 紙風船夢づくり 紙風船の人形製作費、公演活動に関する費用
 ◆ 土地建物取得 将来のNPO土地建物取得費用

1口1,000円 何口でも結構です。
 ご支援していただける項目を振込用紙に記載の上ご協力お願いいたします。

※ 年2回(夏号と冬号)に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。
 ご利用下さい。